

部活動の地域連携・地域移行を推進し、教員の負担軽減に取り組んでいる穴吹中学校の取組をご紹介します。

全ての運動部活動に部活動指導員を配置

平日の指導

部活動スタート

顧問(教員)等が指導

部活動指導員が到着

指導をバトンタッチ

顧問(教員)は校務分掌等の業務を行う

休日の指導

部活動指導員等が指導

※大会や練習試合については、顧問(教員)と連携して調整

顧問(教員)の声

「専門性」のある「地域をよく知る人材」に、安心して指導をお願いすることができます。

部活動指導員の声

地域の未来を担う子どもたちと、先生のサポートのため、男子バレーボール部の部活動指導員になることを決意しました。子どもたちにとって、「やらされている」活動より、「やりたい」と思える活動にしたいと考えながら、日々指導しています。



女子バレー部は、少人数で活動しているため、近隣の中学校と合同チームを編成しています。2校分の学校行事を考慮し、練習予定を組む必要があることなど、課題はありますが、チームの勝利のため、熱心に練習する生徒の姿が、私の励みになっています。

自分の子どもが女子ソフトテニス部に所属していたため、指導に関わるようになりました。地域にはテニス経験者が多く、ボランティアの指導者も多数参加してくださっています。技術指導は難しいですが、生徒が少しずつ上達するのを見るのは本当に楽しいです。



休日部活動の地域移行 (野球部)

平日は部活動指導員として
休日は地域クラブの指導者として
生徒の活動をサポート!!



中学校教員を退職し、現在は、近隣の小学校で勤務する傍ら、野球部の指導に携わっています。以前、穴吹中学校で勤務したことがあり、保護者の中には教え子も多いため、生徒は身近に感じてくれているようです。大好きな野球を通じて子どもたちと関わることは、私の「生きがい」です。この活動が、学校の職員の助けになるというのであれば、まさに「WinWinな関係」といえるのではないのでしょうか。

美馬市では、子どもたちのため、「現行の部活動の仕組み」を見直し、整えるための部活動改革にも取り組んでいます。

【美馬市の取組】

- 部活動指導員を対象とした専門性向上研修 (熱中症予防・実技指導について)
- 市教委と学校現場が連携し、「合同部活動」や「拠点校方式による部活動」を推進
 - ・市内各校の進学説明会での説明
 - ・練習場所への移動支援 ※アプリで予約 (国交省の日本版MaaS推進・支援事業を活用)
- 教員への意識調査や、各校への定期的なヒアリングの実施 (課題の抽出のため)

